

NO.4



あやめ通信



大人版
7月号

小説

太田光『笑って人類!』

櫛木理宇『少年籠城』

小路幸也『ペニー・レイン』

堂場瞬一『デモクラシー』

佐々木禎子『秘めた想いの桜飯』

白井智之『名探偵のいけにえ』

近藤史恵『それでも旅に出るカフェ』

有川浩『物語の種』

知念実希人『ヨモツイクサ』

畠中恵『おやごころ』

実用書

中川裕『カムイユカラを聞いてアイヌ語を学ぶ』

中森一郎『"日本泳法"のススメ』

丘沢静也『恋愛の授業』

永峰英太郎『親の家を売る』

山下智道『ヨモギハンドブック』

朝日新聞出版『パソコンで困ったときに開く本』

小林朋道『先生、モモンガがお尻フクロウを脅しています?』

goodie foodie編集部『専門店で聞いた本当においしい食べ方』

新刊案内
5/31~6/22



↑先月の新刊の一部を紹介します。 ↓今月のおすすめの1冊を紹介します。

今月の1冊

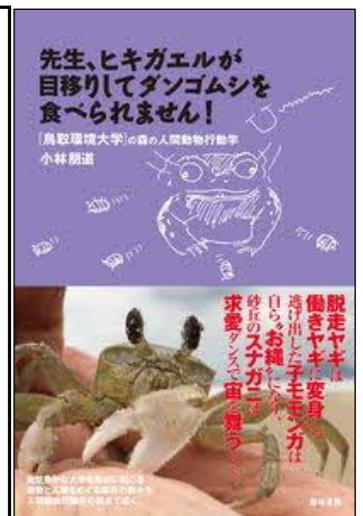
小林 朋道

『先生、ヒキガエルが目移りしてダンゴムシを食べられません!』

私(いわゆる「中の人」)と小林朋道先生との出会いは、「先生!」シリーズの第1作目『先生、巨大コウモリが廊下を飛んでいます!』であった。その奇天烈なタイトルに目を惹かれ、動物と人間の行動・本能について易しくコミカルに書かれた文章に引き込まれ、即日読破したのを覚えている。それ以来およそ9年ぶりに出会ったのが本作『先生、ヒキガエルが目移りしてダンゴムシを食べられません!』であった。

『先生、ヒキガエルが(以下略)』はシリーズ17作目であるが、相変わらず小林先生と動物や学生との交流(珍事件とも)が面白く、解説もわかりやすく書いてくださっているので、「楽しく学びたい」方にはうってつけのシリーズの1つである。

最後に、これまで「あやめ通信」の今月の1冊をお読みくださった聡明な読者の皆様はお気づきかもしれないが、この紹介文の文体は「先生!」シリーズに寄せてある(無論物書きのプロではないので「なんとなく意識している」程度であるが)。「である」調や()の多用が苦手な方はご注意ください。



学文ニュース 児童書集中購入！

児童書の集中購入を行い、児童書コーナーに設置しました。

新しく発行された本は少なく、いわゆる「名作」と呼ばれるものや、蔵書のシリーズで抜けてしまっていたものをそろえました。

これを機に「子どもの本だ」と割り切ってしまうわずに、今一度児童書の世界に足を踏み入れてみてはいかがでしょうか？ 読んだことがある・知っている物語でも、大人になった今は当時にはなかった発見や、より心に響くものがあるかもしれません。

また、小さい字が読みにくい方、なかなか読書に長い時間を割けないという方にも児童書はオススメです。



↑先月学文であったできごとなどを紹介します。 ↓今月の学文の予定を紹介します。



教科書展示

6月14日～7月1日

ロビーで小・中学校用の教科書を展示いたします。



札幌交響楽団

長万部公演

7月30日(日)

「札幌」の愛称で親しまれる札幌交響楽団の演奏を文化ホールにてお楽しみいただけます。

詳しくはポスターなどをご覧ください。

7月のカレンダー

定休日:毎週月曜日、年末年始、蔵書点検日

開館時間:10:00～18:00

日	月	火	水	木	金	土
						1 
2	3 	4	5	6	7	8
9	10 	11	12	13	14	15
16	17 	18	19	20	21	22
23	24 	25	26	27	28	29
30 	31 					